

TOKYO, VOL. 24 ～マルチランゲージプロダクション(MLP)がお届けする～

# MLP Japan ニュース



富山県立山町 室堂の景色

ごあいさつ

## 日本の夏と浴衣

今年の夏、浴衣を着てお出かけしましたか？浴衣は、私たちの外見を一時的に美しく変えてくれる、日本が誇る伝統衣装です。浴衣は、日本文化を象徴するものの一つと言えるでしょう。

一方、**クリスチャンが誇るものには洗礼があります。イエスを信じ、洗礼を受けたクリスチャンには、目に見えない特別な衣が与えられています。**この衣は、弱い自分を完全に覆い隠し、神様の前に立つ人を美しく装ってくれます。どうか多くの方が主イエスの信仰を通して、永遠の衣を着ることができますように。

MLP Japan メディアコンサルタント  
編集長 江川かをり

ご報告

## 新天地での活動開始

**アジア One チームメンバーが無事にオーストラリアでの生活を始めました。**今年の6月に天に召されたリーダー、スティーブ・ウィッティ牧師はすでに地上でのクリスチャンの歩みを終え、イエスさまと天国の祝宴を楽しんでいます。この良いお手本に励まされて、アジア One チームがオーストラリア・ブリズベン市での新しい宣教活動を力強く進めていけることを祈ります。



ドブラー牧師夫妻



ヤンキー牧師家族

伝道

## 東久留米の夏

8月25日(日)に、オンラインのジョイクラブが行われました。テーマは「山の上から伝えよう～夏にクリスマスを思い出す」です。イエスさまが生まれた時、羊飼いたちが町の人々に救い主の誕生を知らせました。私たちも家族や友達や知人にイエスさまの愛を喜んで知らせることの大切さを学びました。**お話の後“Go, Tell it on the Mountain”という歌を題材にした工作をして一緒に歌いました。**

QRコードはパペットと一緒に歌える歌詞付きの動画です。→  
※お話は次ページ下で読めます。



## 今月のみことば

それは、キリストが御父の栄光によって死者の中から復活させられたように、私たちが新しい命に生きるためなのです。

ローマ人の福音書 6章4節

発行人：MLP JAPAN メディアコンサルタント 江川かをり <https://wels.net/>

〒203-0053 東久留米市本町 1-3-39 TEL: 042-472-3454

SUPPORTED BY STAR CROSS, A JAPANESE TRANSLATION & WRITING COMPANY

## WELS からのメッセージ

## イベント「宣教を味わう」で、神の力強い愛をアートで表現する

今年の6月15日にウィスコンシン州メクオンのウィスコンシン・ルーテル神学校で開催されたイベント「宣教を味わう (Taste of Missions)」には470名以上が参加し、さらに104名がオンラインで参加しました。イベントのハイライトは、**9名の国内宣教師と世界宣教師がそれぞれの奉仕の場に派遣される委任式でした。**

またこのイベントで、WELSは高校生を対象にポスターコンテストを開催しました。36人の生徒がこのコンテストに参加し、作品を制作しながらWELSの国内、世界、共同ミッションについて学びました。

**ウィスコンシン州ウォータータウンのトリニティ高校に通うヴィエンヌ・レインさんは、第1回 Taste of Missions 高校生ポスターコンテストで優勝しました。**ヴィエンヌさんの作品は、他のポスターとともに、Taste of Missions イベントで展示されました。彼女の作品は、ウィスコンシン州アナラスカのルーテル高校に通うエリザベス・キューナーさんの作品と並んで展示されました。エリザベスさんの作品は「ファンのお気に入り」に選ばれました。

ヴィエンヌさんは、友人や高校の美術教師からの激励を受けてコンテストに参加しました。彼女の作品は、世界中で奉仕している数え切れないほどの宣教師からインスピレーションを得ています。**彼女は「このコンテストを通じて、クリスチャンが世界のさまざまな国に出て行って、神のみことばを広めていることを本当に考えさせられました。神のみことばはとても素晴らしいです。」と語っています。**



※上記は、WELS 公式月刊誌 *Forward In Christ (FIC)* 2024年8月号より翻訳/要約されています。

## こどもたちへ：山の上からつたえよう！一夏に思い出すクリスマス

私たちはいつも、12月にイエスさまが生まれたことをいいます。でもクリスマスのよろこびは一年中、たとえ今のような8月のあつい時でも味わうことができます。なぜでしょうか？お話をききましょう。

【おはなし】

約2000年前の夜、しずかな野原で羊を見まもっていた羊かいたちの前に、とつぜん天使があらわれました。**天使は、「世界中のみんなのために、救い主が生まれました！」と、すばらしい知らせをつたえました。羊かいたちはすぐに赤ちゃんイエスさまに会いにいき、そのあと町に行き、見たことをたくさんの人につたえました。**

でも、これがおはなしの終わりではありません。イエスさまはふつうの赤ちゃんではなく、私たちが「つみ」ののろいから救うために来た、とくべつな方でした。私たちはみんな、時々わるいことをしたり、かんがえたりしてしまいます。とくに、神さまの目から見たわるいことを**聖書**では「つみ」とよんでいます。「つみ」をそのままにしておくと、わるいことが待っています。それは、私たちがずっと、神さまからはなれてしまうことです。そんな私たちを、神の子イエスさまはとても愛し、救うために来てくださいました。※ここでいう神さまは、三位一体（さんみいったい）のとくべつな神さまのことです。

**イエスさまが生まれたことは、神さまの大きなご計画の大切な一部でした。**イエスさまは私たちを愛し、自分からすすんで、ばつを受けました。イエスさまは何もわるいことをしなかったのに、私たちのかわりにばつをうけたのです。イエスさまが十字架で死んだとき、私たちへのばつは終わりました。イエスさまが、ぜんぶ、終わらせてくれたのです。

もっとびっくりすることに、イエスさまは死んだままではなく、お墓から元気によみがえりました。イエスさまは死に負けないすごい力をもって、天国の王さまとして今も生きています。**イエスさまをしんじる人は、神さまとなかよしになります。そして死んだあとも、新しい命をもらって、天国でイエスさまといっしょに、いつまでも幸せに生きられます。**これは、ほんとうにうれしい知らせです！だから、天使の話を聞いた羊かいたちのように、周りの人にイエスさまのことをつたえましょう。毎日みことばを聞いて、よるこんで神さまにいのりながら、よい知らせをつたえつづけましょう。

